

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機

第106期中間ご報告

2021年3月1日 ▶ 2021年8月31日

(証券コード：6506)

株式会社 安川電機

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方にお見舞いを申しあげるとともに、一日も早く回復され、復帰されることを心から願っています。

さて、2021年度中間期における当社グループの経営環境は、新型コロナウイルス感染症が世界各地で未だ猛威を振るい予断を許さない状況が続いていますが、着実に進むワクチン接種などにより経済活動の正常化が進展し、製造業全般の設備投資は力強く回復しました。地域別で見ると、自動車・半導体・電子部品などの需要がグローバルに高い水準で推移し、中国ではスマートフォンなどの5Gや新エネルギー関連の需要が拡大するなど、ニューインフラ投資が積極的に行われました。このような環境において当社グループの業績は、旺盛な需要を的確に捉え積極的な事業活動を行った結果、大幅な増収増益となりました。

2021年度下期においては継続した経費管理の徹底に加え、上期の急激な需要回復で増加した受注残を確実に売上につなげるなど、収益の最大化を図ります。また、安川テクノロジーセンターの本格稼働により世界初・世界一にこだわった製品の開発を進めるとともに、YDX(YASKAWA Digital Transformation)の推進を通じて開発・生産・販売の情報を連携させ、デジタル経営の基盤構築を実現します。

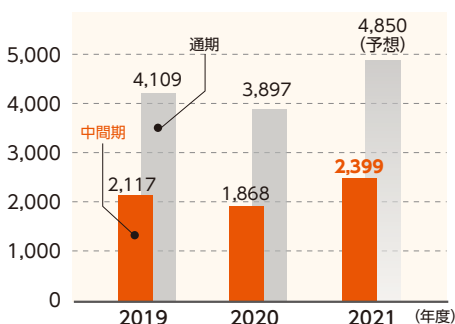
当社グループはこれからもグローバルに競争力のある製品を成長市場に的確に提供していくことで、お客さまの付加価値向上をサポートし、経営体質の強化を図りながら企業価値の向上と持続的な成長を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

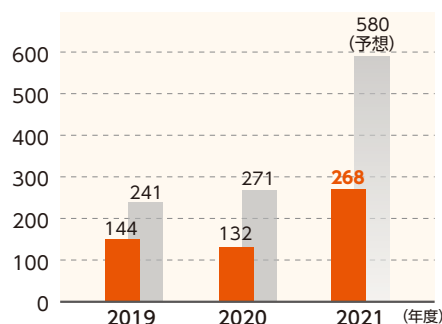
2021年11月

代表取締役社長 **小笠原 浩**

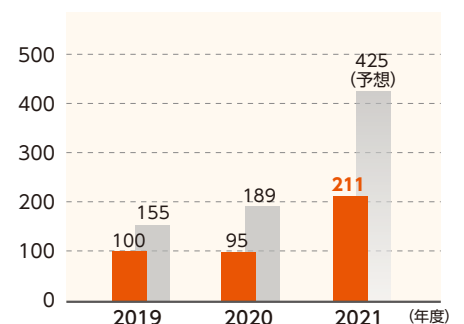
● 売上収益 (単位:億円)



● 営業利益 (単位:億円)



● 親会社の所有者に帰属する当期利益 (単位:億円)



セグメント別の概況

モーションコントロール

世界のニーズにこたえるモーションコントロール事業

ACサーボモータ・コントローラ、インバータなどの製品は、生産設備の高度化ニーズに応え、省エネに貢献しています。

■事業の業績

ACサーボモータ・コントローラにおいては、日米・韓国などグローバルに半導体・電子部品需要が高い水準で推移しました。また、中国ではスマートフォンや基地局向けなどの5G関連需要が増加し、リチウムイオン電池や太陽光発電用パネルなどの新エネルギー関連分野でも積極的な設備投資が行われたことから、販売は総じて好調に推移しました。

インバータにおいては、グローバルな市況回復に伴う設備投資の活発化に加え、中国においてクレーンなどのインフラ需要や繊維関連の需要が拡大したことから、売上収益は増加しました。

これらの結果、セグメント全体での販売は好調に推移し、大幅な増収となりました。利益面においては物流費や原材料費の値上がりの影響を受けたものの、売上の増加により大幅な増益となりました。

■新製品

セルを統合制御する YRM-X(テン)コントローラを販売開始

YRM-X(テン)コントローラは、装置や産業用ロボットなどで構成された生産設備(セル)の様々なデータを統合的かつ時系列に収集し、高速かつリアルタイムに分析したデータを生産設備にフィードバックすることで、生産効率の向上に貢献します。



売上収益 前年同期比35.7%増

1,164億84万円

営業利益 前年同期比58.3%増

196億82百万円

ロボット

新たな挑戦を続け進化するロボット

自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。

■事業の業績

主要市場である自動車においては、市場全般で生産設備における自動化領域の拡大に伴う投資が積極的に行われたほか、EV(電気自動車)・バッテリー関連の需要も増加しました。また、物流や食品、3C*などの一般産業分野においてもグローバルで生産の高度化・自動化を目的とした投資が行われました。

このような需要環境に加え、半導体ロボットの販売も堅調に推移したことから、売上収益は大きく伸長し、営業利益は売上の増加や操業度の改善などにより大幅に増加しました。

*3C:Computer、Communication、Consumer Electronicsの3語の頭文字

■新製品

新型人協働ロボット 「MOTOMAN-HC20SDTP」を販売開始

人協働ロボットMOTOMAN-HC20SDTPは、人と同じ作業スペースで重量物の搬送が可能であり、生産ラインの省スペース化や作業時間短縮に貢献します。



MOTOMAN-HC20SDTP

売上収益 前年同期比32.1%増

864億1百万円

営業利益 前年同期比179.8%増

69億57百万円

システムエンジニアリング

世界に誇る安川電機のシステム技術

1世紀にわたり培った技術と豊富な実績により、社会の安全・安心と豊かな暮らしを支えます。

■事業の業績

環境・社会システム事業においては、コロナ禍からの正常化により国内の上下水道用電気システム関連および欧州の大型風力発電用電機品の販売は堅調に推移しました。

産業用オートメーションドライブ事業においては、国内における鉄鋼プラント関連の売上は伸び悩んだものの、海外の港湾クレーン向けの販売が堅調に推移しました。

これらの結果、セグメント全体の売上収益は前年同期比で増加し、営業利益は採算管理の徹底や経費抑制の継続などにより増加しました。

売上収益 前年同期比11.1%増

271億40百万円

営業利益 前年同期比523.5%増

12億17百万円

安川電機の技術を一貫して開発し、イノベーションを興す開発拠点となる安川テクノロジーセンタ(YTC)が本格稼働



YTC外観

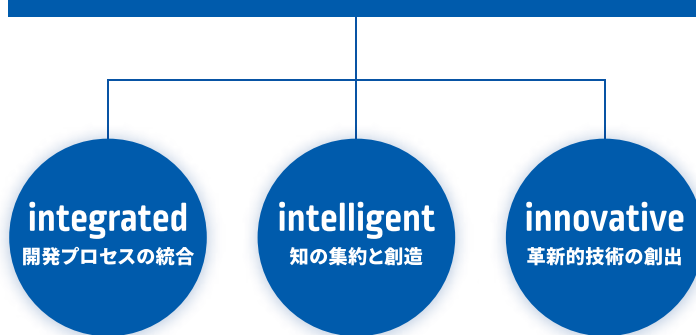
■ 安川テクノロジーセンタの設立

お客さまの要求に対してスピーディに対応できる体制を構築するために、新たな開発拠点の安川テクノロジーセンタ(以下、YTC)を開設しました。同センタは、開発プロセスの統合(Integrated)、知の集約と創造(Intelligent)、革新的技術の創出(Innovative)を3つのキーワードに掲げ、安川グループの技術とオープンイノベーションにより、お客さまのビジネスを成功に導く製品をタイムリーに開発できる技術集約拠点となることをコンセプトとしています。

開発体制においては、全事業部および本社開発部門を集約し、企画・開発・生産・品質管理まで、一貫して取り組める環境を構築しました。また、産学官連携を加速させる共同研究の推進をはじめ、社内外の“強み”を最大限に生かし、飛躍的な技術進化を目指します。

オフィス内は、情報共有やコミュニケーションを活性化し、世の中の技術動向などに常に触れられる環境を整えました。

安川グループ全体とオープンイノベーションにより、お客様が勝てる製品をタイムリーに開発できる技術集約拠点



安川テクノロジーセンタのコンセプト

■ 外部パートナーとの共創を加速

あらゆる業界で自動化ニーズが高まる近年、当社が従来取り組んだことのない領域にも参入していく必要があると感じています。そのためには開発の効率化に併せて、技術者とデータを集約することにより、外部パートナーを巻き込んだオープンイノベーションを強化していきます。その一環として、当社に興味を持っていただいた外部のパートナーにYTCへ来ていただくことで開発が進められるように「共創の開発室」を設置しました。最新の開発環境と効率化したシステムにより、外部パートナーとの共同開発を加速し、魅力ある製品づくりにつなげていきます。



トピックス

国立大学法人九州大学との包括的な連携

2021年6月、国立大学法人九州大学と、これまで産業用ロボットの制御技術の開発などプロジェクトごとにテーマ設定してきた関係を加速するべく、共同研究に留まらずより広い範囲でのシナジー創出に向けて包括的に連携

していくことで合意しました。将来を見据えた包括的な提携を行い、最先端の技術開発、異分野での連携、人材の育成など、幅広い活動で共に持続的な成長を目指します。



●株式の状況 (2021年8月31日現在)

■発行済株式の総数 266,690 千株

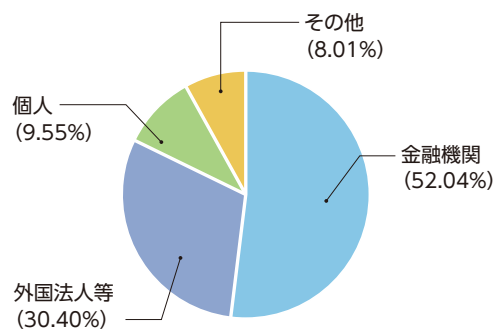
■株主数 45,291 名

■大株主の状況

大株主(上位10位)	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	35,383千株	13.48%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	22,013千株	8.38%
THE BANK OF NEW YORK 133972 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	9,034千株	3.44%
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	8,100千株	3.09%
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	7,774千株	2.96%
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	7,439千株	2.83%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	5,603千株	2.13%
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	5,100千株	1.94%
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	4,328千株	1.65%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	4,220千株	1.61%

(注)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



■配当金情報

第106期(自2021年3月1日 至2022年2月28日)配当について			
中間配当	1株につき	26円	
期末配当	1株につき	26円(予想)	
年間	1株につき	52円(予想)	

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会開催月/配当金受領株主確定日	5月/毎年2月末日および8月31日
公告方法	電子公告 (https://www.yaskawa.co.jp/ir/)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■未払い配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き、マイナンバーのお届出等

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま(特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問い合わせください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

■お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル
0120-288-324

オフィシャルサイト、YASKAWAレポートのご案内

https://www.yaskawa.co.jp/

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

安川電機

検索



QRコード

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



株主・投資家情報をクリック

統合報告書
[YASKAWAレポート]

YASKAWAレポート2021

本統合報告書は、当社グループが長年にわたり積み上げてきた経営資源や独自の強みをどのように生かし、持続的な成長を実現していくのか、経営陣へのインタビューなどを交え、様々な側面からご理解いただけるよう心がけて編集しております。ぜひご覧ください。

本冊子に記載の数値は切り捨て、比率については四捨五入しており、決算補足資料など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。